

令和4年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(小学校:令和4年12月20日実施 中学校:令和5年1月12日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

— 夢を育み 未来を創る 上尾の教育 —

上尾市教育委員会

目 次

1 学力調査実施の概要	1
(1) 調査の趣旨	
(2) 調査対象	
(3) 調査実施日	
(4) 調査教科及び調査時間	
(5) 使用検査紙	
(6) 調査人数	
2 学力調査結果の概要	2
(1) 小学校(上尾市全体)	
ア 各学年の平均正答率	
イ 教科ごとの平均正答率	
(2) 中学校(上尾市全体)	
ア 各学年の平均正答率	
イ 教科ごとの平均正答率	
3 問題の内容別調査結果の概要	4
(1) 小学校	
ア 第2学年	
イ 第3学年	
ウ 第4学年	
エ 第5学年	
オ 第6学年	
(2) 中学校	
ア 第1学年	
イ 第2学年	
4 まとめ	12
(1) 成果	
(2) 課題	
(3) 今後の取組	
ア 学力調査結果の効果的な活用	
イ 「学力向上プラン」を軸としたCAPDサイクルの確立	

1 学力調査実施の概要

(1) 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

(2) 調査対象

小学校 第2～6学年

中学校 第1～2学年

(3) 調査実施日

小学校：令和4年12月20日（火）

中学校：令和5年 1月12日（木）

(4) 調査教科及び調査時間

小学校：第2～6学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第1～2学年 国語（45分）、数学（45分）、英語（45分）

※出題範囲は、当該学年で学習した内容

(5) 使用検査紙

「標準学力調査」（東京書籍株式会社）

(6) 調査人数

	国 語		算数・数学		英 語	
	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]
小学校	8523	94.9	8528	94.9	—	—
中学校	3291	90.8	3285	90.6	3286	90.6
合 計	11814	93.7	11813	93.7	3286	90.6

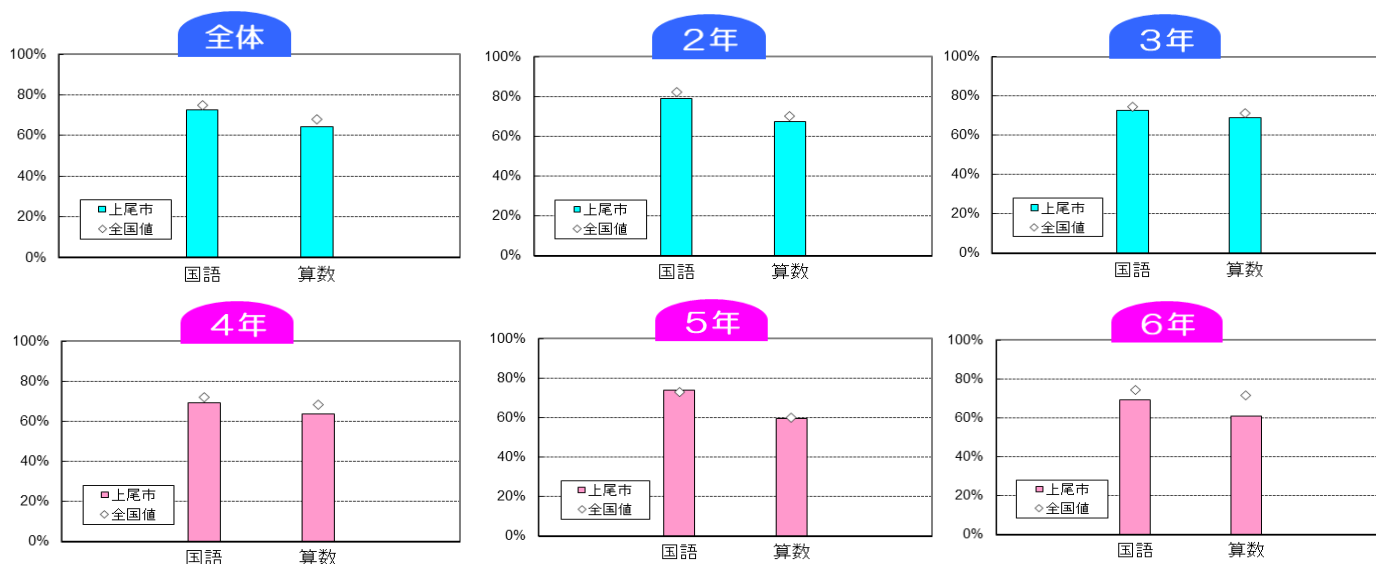
2 学力調査結果の概要

(1) 小学校（上尾市全体）

ア 各学年の平均正答率

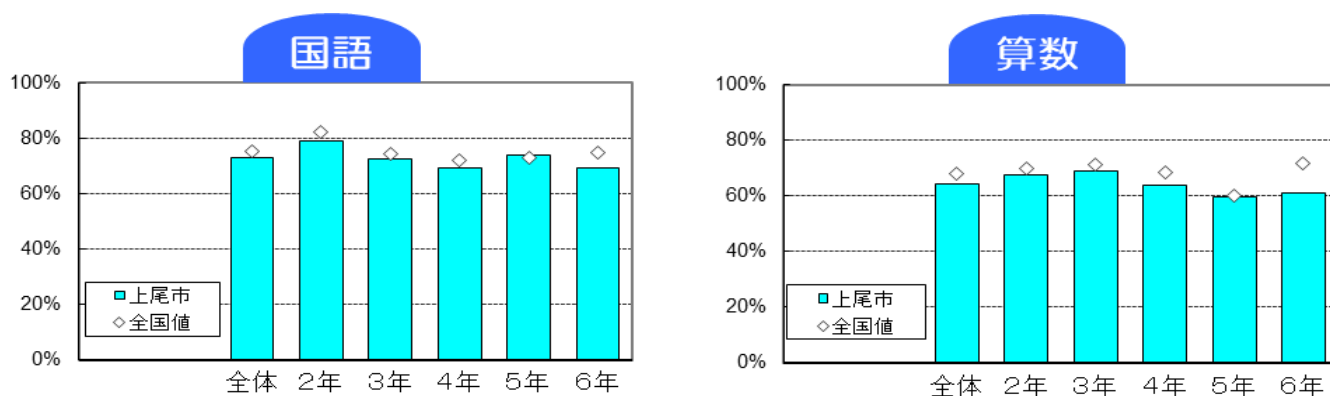
[%]

令和4年度	全体		2年		3年		4年		5年		6年	
	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国
国語	72.7	75.1	78.8	82.0	72.6	74.4	69.4	72.0	73.7	72.7	69.2	74.5
算数	64.2	68.2	67.4	70.0	68.9	71.1	63.7	68.3	59.7	60.0	61.1	71.6



イ 教科ごとの平均正答率 [%]

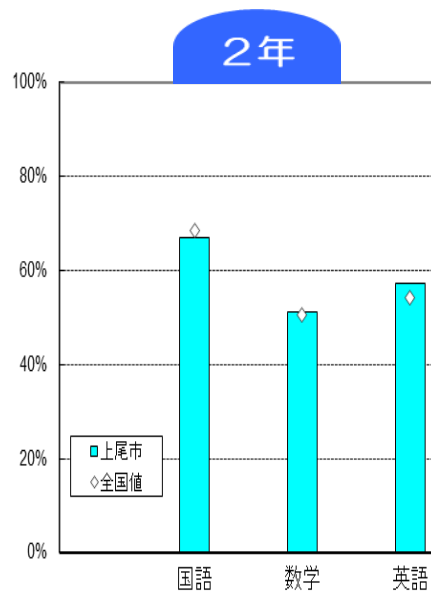
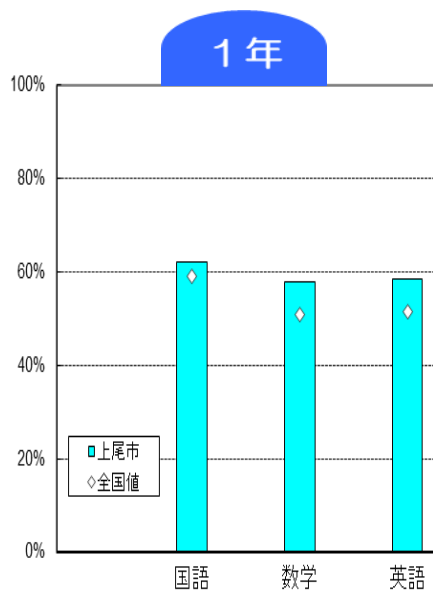
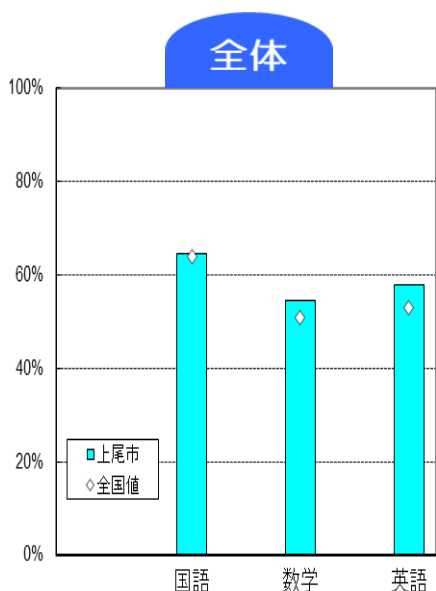
令和4年度	国語		算数	
	上尾市	全国	上尾市	全国
全体	72.7	75.1	64.2	68.2
2年	78.8	82.0	67.4	70.0
3年	72.6	74.4	68.9	71.1
4年	69.4	72.0	63.7	68.3
5年	73.7	72.7	59.7	60.0
6年	69.2	74.5	61.1	71.6



(2) 中学校（上尾市全体）

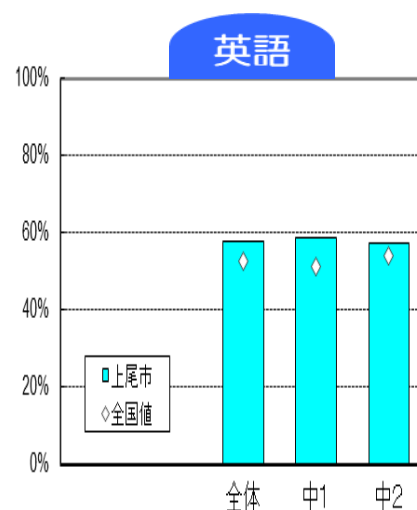
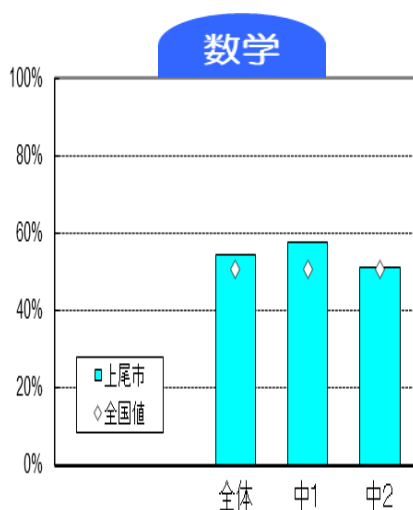
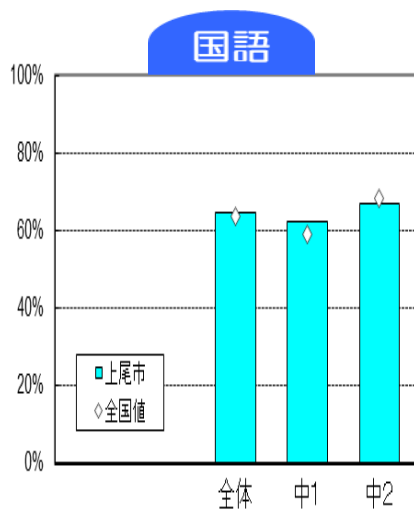
ア 各学年の平均正答率 [%]

令和4年度	全体		1年		2年	
	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国
国語	64.5	63.7	62.1	59.0	66.8	68.5
数学	54.4	50.7	57.8	50.9	51.1	50.5
英語	57.8	52.8	58.5	51.4	57.2	54.2



イ 教科ごとの平均正答率 [%]

令和4年度	国語		数学		英語	
	上尾市	全国	上尾市	全国	上尾市	全国
全体	64.5	63.7	54.4	50.7	57.8	52.8
1年	62.1	59.0	57.8	50.9	58.5	51.4
2年	66.8	51.1	57.2	68.5	50.5	54.2



3 問題の内容別調査結果の概要

(1) 小学校

ア 第2学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
話を聞きとる	話し手が知らせたいことを落とさないように聞いている。	90.3	
	話し手の話に関心をもち、質問している。	91.5	
かん字を読む	第2学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	64.3	
		92.4	
かん字を書く	第1学年に配当されている漢字を正しく書いている。	94.9	
		97.9	
ことばの学しゅう	片仮名で書く語の種類を知り、正しく使っている。	96.9	
	漢字の正しい筆順を理解している。	95.1	
	言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。	83.3	
ものがたりを読みとる	共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	89.6	
	場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	83.7	
	登場人物の行動や気持ちなど、内容の大体を捉えている。	77.3	
せつ明文を読みとる	文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	76.5	
	事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。	69.9	
話し合いをもとに はっぴょうする	情報と情報との関係について理解し、文章の中の重要な語を考えて選び出している。	72.7	
	相手に伝わるように、事柄の順序を考えて話している。	85.8	
文しょうを書く	情報と情報との関係について理解し、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えている。	79.8	
	指定された長さで文章を書いている。	80.2	
	経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、文章を書いている。	10.4	
	自分の思いや考えが明確になるように、文章を書いている。	47.7	
		69.8	
		75.1	
		71.6	

相手に伝わるように、事柄の順序を考えて話すことに課題がある。相手に伝わるようにするためには、聞き手を意識することが重要となる。また、順序よく考えることで、自分の伝えたいことを表現することができることを実感させ、工夫して話そうとする態度につなげていくことが大切である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
1000までの数	命数法で書かれた数を記数法で表すことができる。	85.5	
	1000までの数の表し方を理解している。	91.9	
	数の相対的な大きさについて理解している。	65.3	
1000までの数	1000までの数の表し方を理解している。	75.0	
	数直線に示された数を読み取ることができる。	91.0	
1000までの数	示された数を数直線に表すことができる。	62.5	
	不等号を使った数の大小の表し方を理解している。	76.6	
かけ算	3の段の九九ができる。	96.3	
	5の段の九九ができる。	97.1	
たし算	2けた+2けた=2けた(繰り上がりなし)の計算ができる。	94.1	
	2けた+2けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	79.3	
	3けた+2けた=3けた(繰り上がり1回)の計算ができる。	82.8	
ひき算	3けた-2けた=2けた(波及的繰り下がりあり)の計算ができる。	69.3	
	3けた-1けた=3けた(繰り下がり1回)の計算ができる。	73.2	
たし算	10をもとにして、何十+何十の計算をしている。	16.1	
かけ算	文章問題(連続量の倍)の答えを求めるために、乗法九九を適用して立式している。	77.2	
たし算	文章問題(求大の場面)を、2けた+2けた=2けたの加法を適用して解くことができる。	72.1	
ひき算	文章問題(おつりを求める場面)を、加法と減法を適用して解くことができる。	61.8	
かけ算	文章問題(乗数先出)を解くために、乗法九九を適用して立式している。	89.8	
たし算	文章問題を解くために立式した乗法九九を適用した式から、正しい答えを求めることができる。	89.4	
たし算	結合法則を用いた計算のしかたを説明している。	23.1	
ひき算	減法の文章問題(求補の場面)を表した図を理解している。	62.5	
	減法の文章問題(求補の場面)を表した図から立式ができる。	67.7	
時ごとと時間	立式した減法の式から、正しい答えを求めることができる。	58.3	
	2つの時刻の間の時間を求めている。	73.0	
長さ・かさ	時間の単位の関係を理解し、分を時間と分に直すことができる。	73.2	
長さ・かさ	ものさしの目盛りの読み取り方を理解している。	65.2	
長さ・かさ	長さも減法の計算ができることを理解し、長さの差を求めることができる。	61.8	
	1L=10dLであることを理解し、リットルマスに示されたかさをLとdLで表すことができる。	55.7	
長さ・かさ	かさの単位の関係を理解し、大小を判断することができる。	33.6	
時ごとと時間	身近にあるもののかさに使われる適切な単位を理解している。	45.1	
長さ・かさ	場面を理解し、ショーの開始時刻に到着するためには、何時何分までに家を出ればよいかを求めている。	39.0	
たし算	長さも加法の計算ができることを理解し、短い方の線を求めている。	28.2	
かけ算	150円で買うことができる組み合わせを選ぶことができる。	58.6	
かけ算	乗法を用いて、買った金魚の数を求めることができる。	68.5	

10をもとにして、(何十)+(何十)の計算をすることに課題がある。指導に当たっては、計算の仕方を形式的に理解するのではなく、10のまとまりに着目することで、既習の計算方法を基にして求めることができることを理解することが重要である。

イ 第3学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
話し合いの内ようを聞き取る	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。	96.1	
	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	85.6	
	相手に伝わるように、自分の考えを、理由を挙げながら話している。	82.0	
漢字を読む	第3学年に配当されている漢字を正しく読んでいる。	88.7	
		85.0	
漢字を書く	第2学年に配当されている漢字を正しく書いている。	92.3	
		85.4	
		91.0	
言葉の学習	漢字の音読みと訓読みについて理解している。	46.5	
	様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	90.3	
	ローマ字で表記されたものを正しく読んでいる。	61.9	
	国語辞典の使い方を理解している。	72.0	
物語の内ようを読み取る	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	89.2	
	場面の移り変わりについて、叙述を基に捉えている。	70.2	
	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	72.3	
せつ明文の内ようを読み取る	叙述を基に段落の内容を捉えている。	83.5	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	81.4	
話し合いをもとにしようたいじょうを書く	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見つけて要約している。	48.9	
	相手や目的を意識した表現になるように、文章を整えている。	76.2	
	情報と情報との関係について理解し、考えとそれを支える事例との関係を明確にして書いている。	6.2	
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	47.9	
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	49.0	
	内容の中心を明確にし、自分の考えを書いている。	66.8	
	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして書いている。	57.8	

情報と情報との関係について理解し、考えとそれを支える事例との関係を明確にして書くことに課題がある。指導に当たっては、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の指導と関連付けながら、考えと理由や事例との関係を明確にしていくことが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
10000より大きい数	位取り記数法を理解し、1000万、100万、1万、100の個数から、その数を表すことができる。	74.8	
	数の相対的な大きさについて理解している。	61.8	
	906を1000倍した数理解している。	80.4	
10000より大きい数	数直線に示された数の読み取り方を理解している。	69.3	
かけ算	2けた×1けた=3けたの計算ができる。	69.7	
	3けた×1けた=3けたの計算ができる。	73.5	
わり算	2けた÷1けた=1けた(余りなし)の計算ができる。	88.0	
	2けた÷1けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	69.4	
たし算・ひき算	3けた+3けた=3けた(繰り上がり2回)の計算ができる。	79.8	
	4けた-3けた=3けた(繰り下がりが3回)の計算ができる。	69.7	
かけ算	乗法のきまり(分配法則)を理解している。	75.5	
かけ算	文章問題を解くための乗法の式を選ぶことができる。	69.1	
わり算	文章問題を解くために除法の立式をしている。	68.9	
	文章問題を解くために立式した除法の式から、あまりの処理をして、正しい答えを求めている。	50.1	
かけ算	乗法の式に合った文章問題(30×5の場面)を選ぶことができる。	67.6	
わり算	等分除の文章問題を図に表している。	71.3	
時ごとと時間	答えが「3人」になる文章問題を選ぶことができる。	53.7	
	時間の単位の関係を理解し、秒を分と秒に直すことができる。	89.1	
長さ・重さ	身近にあるものの長さを推察して、適切な単位を使うことができる。	89.9	
	道のりの意味を理解している。	71.2	
長さ・重さ	はかりの目盛りの読み方を理解している。	82.1	
	身近にあるものの重さを推察して、およそ300gのものを選ぶことができる。	84.6	
円と球	円の半径とコンパスの使い方について理解している。	81.0	
円と球	球の直径から、球が2つ入った箱の辺の長さを求めることができる。	86.0	
円と球	コンパスは同じ長さを測りとりとることができることを理解し、コンパスを使って等しい長さを見つけることができる。	81.1	
かけ算	300×5の計算のしかたを、100の何個分かをもちに説明している。	51.9	
かけ算	()を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、場面に合う式を選んでいる。	75.1	
かけ算	()を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、場面に合う式を選んでいる。	47.1	
時ごとと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めている。	47.1	
時ごとと時間	ある時刻から一定時間後の時刻を求めている。	63.1	
長さ・重さ	ある時刻から一定時間後の時刻を求めている。	32.1	
わり算	2つのコースの道のりを求めて比較し、何m短いかを求めている。	39.9	
わり算	あまりのあるわり算の計算が間違っている理由を説明している。	32.1	
かけ算	2けた×1けたの乗法の答えの求め方を、位に着目して説明している。	37.2	

根拠をもとに自分の考えを説明する問題に誤答や無回答が多い。問題解決をする際には、自分の解法の根拠になっている考えを説明できるようにすることが重要である。コンパス等の道具の扱いについては、道具の特徴を理解し、使い方のみの指導にならないようにする。

ウ 第4学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
話し合いの内よう を聞き取る	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	69.2	
	話し手が伝えたいことの中心を捉えている。	87.4	
	司会の役割を果たしながら話し合い、意見の相違点に着目している。	83.2	
漢字を読む	第4学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	97.1	
		94.9	
		99.6	
漢字を書く	第3学年に担当されている漢字を正しく書いている。	75.8	
		65.9	
		86.1	
言葉の学習	主語と述語について理解している。	60.4	
	連体修飾語について理解している。	70.9	
	ことわざの意味を知り、正しく使っている。	80.7	
	漢字辞典の使い方を理解している。	68.1	
物語の内ようを 読み取る	気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	95.4	
	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	84.5	
	登場人物の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	69.2	
説明文の内ようを 読み取る	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	44.8	
	文と文との接続の関係を理解し、文章の内容を捉えている。	79.1	
	叙述を基に段落相互の関係を捉えている。	60.6	
調べて分かったこ とを発表する	情報と情報との関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約している。	69.2	
	相手に伝えるように、事例を挙げながら話している。	49.0	
	情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している。	35.1	
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	55.7	
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	44.0	
	内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書いている。	47.6	
	内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書いている。	31.6	

内容の中心を明確にし、事実と自分の考えを書くことに課題がある。事実と自分の考えの違いを明確にするためには、「なぜなら～」、「例えば～」などの表現を使って、自分の考えと、それを支える理由や事例としての事実との関係を明確にして書くことが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
億と兆・がい数の 表し方	命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	77.1	
	10倍にした数を求めることができる。	85.8	
	数直線上に示された大きい数の読み取り方を理解している。	84.6	
小数	小数のしくみを理解している。	84.8	
	小数を用いて長さの単位換算ができる。	56.9	
億と兆・がい数の 表し方	ある位までの概数の表し方を理解している。	73.7	
	概数に対応する数の範囲を理解している。	67.9	
計算のきまり	計算のきまりを使って、四則混合(加法・除法)の式の計算ができる。	62.2	
わり算	3けた÷1けた=3けた(余りあり)の計算ができる。	43.6	
	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	66.9	
小数	小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	79.2	
	小数第一位-小数第三位の計算ができる。	61.5	
わり算	除法の筆算に出てくる数の意味を理解している。	57.8	
わり算	文章問題を解くための除法の立式ができる。	84.7	
	文章問題を解くために立式した3けた÷1けた=2けた(余りあり)の式から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	69.7	
簡単な場合につい での割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	70.4	
	図を使って、基準量を求める除法の文章問題に合った立式ができる。	63.2	
計算のきまり	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選んでいる。	52.6	
計算のきまり	四則混合で()を用いた式の計算順序を理解している。	82.6	
計算のきまり	分配法則を用いて計算している。	51.3	
角の大きさ	分度器の使い方を理解している。	90.0	
角の大きさ	三角定規を組み合わせてできる角の大きさを計算で求めている。	75.7	
角の大きさ	180°より大きい角を求めている。	69.7	
垂直・平行と四角形	方眼を使った垂直な直線の見つけ方を理解している。	37.3	
	平行四辺形の作図ができる。	56.4	
垂直・平行と四角形	2つの円を用いて、ひし形の作図をしている。	43.1	
	折れ線グラフ	折れ線グラフの縦軸の1目りの大きさを理解している。	
わり算	折れ線グラフを正しく読み取っている。	71.9	
わり算	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の式から、余りの処理をして正しい答えを求めることができる。	59.4	
簡単な場合につい での割合	基準量と比較量から求めた割合を比較して、どちらのゴムひもがよく伸びるのかを説明している。	37.0	
	数量の関係を、割合を使って説明することができる。	51.2	
小数	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を説明している。	13.4	

示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を説明することに課題がある。数の相対的な大きさについては、数を構成する単位に着目して、その幾つ分とみる見方ができるようにすることが重要である。

エ 第5学年 【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
話し合いの内容を聞き取る	話の内容を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	56.6	
	話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。	77.0	
	互いの立場を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げている。	84.8	
漢字を読む	第5学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	98.1	
		98.7	
		99.1	
漢字を書く	第4学年に担当されている漢字を正しく書いている。	59.2	
		80.9	
		87.5	
言葉の学習	漢字の由来について理解している。	64.8	
	連用修飾語について理解している。	17.1	
	敬語について理解し、正しく使っている。	84.9	
	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	95.6	
物語の内容を読み取る	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	47.2	
	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	94.2	
	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	82.8	
説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。	81.5	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	87.0	
	情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。	46.4	
学校新聞を作る	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している。	58.8	
	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	35.3	
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	63.0	
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	68.5	
	自分の意見を明確にして書いている。	86.1	
	自分の意見を支える理由を明確にして書いている。	78.2	

連用修飾語についての理解に課題がある。指導に当たっては、文を構成している語句に着目させ、「何を」や「いつ・どこで・どのように」に当たる語句と、「～する」に当たる語句とを明確にさせた上で、文の中での語句と語句の係り方について理解させていくことが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
整数のなかま分け	奇数について理解している。	80.8	
	公倍数について理解し、それを求めることができる。	79.8	
整数のなかま分け	最大公約数を適用して問題を解決している。	52.4	
分数と小数	小数を分数の形に直すことができる。	87.3	
	分数と小数の大小比較をしている。	46.8	
小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の計算ができる。	70.2	
	小数第一位×小数第二位の計算ができる。	55.8	
	小数第一位÷小数第一位(商が純小数)の計算ができる。	65.7	
分数のたし算・ひき算	真分数+真分数=真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	84.8	
	帯分数-真分数=真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。	61.8	
小数のかけ算・わり算	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。	56.7	
小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(純小数倍、比較量を求める)を解くために乗法の立式をしている。	55.8	
	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	68.4	
小数のかけ算・わり算	文章問題を解くために小数の乗法の立式をしている。	77.0	
小数のかけ算・わり算	文章問題を解くために立式した小数第一位×小数第一位の式から、正しい答えを求めることができる。	59.3	
小数のかけ算・わり算	小数第一位÷小数第一位の除法の式に合った文章問題を選んでしている。	47.3	
小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	44.2	
体積	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選んでしている。	49.7	
	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。	73.1	
図形の角	三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから1つの外角の大きさを求めることができる。	63.9	
合同	図に示された五角形の内角の和の求め方を表す式を選んでしている。	46.3	
合同	合同な三角形を作図できる条件を理解している。	45.8	
合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。	70.2	
単位量あたりの大きさ、比例	比例の関係を理解し、一方の値に対応する他方の値を求めることができる。	88.5	
単位量あたりの大きさ、比例	伴って変わる2つの量の関係を表した表を見て、比例関係にあるものを選ぶことができる。	84.7	
単位量あたりの大きさ、比例	表から面積と米の重さの割合を考え、どのクラスの田がよくとれたといえるのかを判断している。	65.0	
体積	ななみさんの式が何を求めているのかを理解し、どちらの田のほうがよくとれたといえるのかを説明している。	17.8	
	水そうの内のりから容積を求め、メダカ20匹きを飼うことができることを説明している。	34.2	
平均	水そうに入れた水の体積から、水の深さを求める式を選ぶことができる。	50.0	
平均	平均から、残りのメダカの体長を求めることができる。	28.8	
平均	値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求めることができる。	65.6	
平均	平均から全体の量を推測することができる。	32.3	

単位量あたりの大きさについて、問題場面を表す式や、その計算結果について説明することに課題がある。式の意味を理解するためには、具体的な場面や数直線などの図と式を関連付けながら理解することが重要である。また、計算結果について、問題場面の条件を基に、何を基準量とし、何を比較量とするかなどを筋道立てて考えられるようにすることが重要である。

才 第6学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
インタビューの内容を聞き取る	話の内容を捉えている。	85.8	
	意図に応じて、質問を工夫している。	87.3	
	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	74.5	
漢字を読む	第6学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	98.5	
		99.1	
漢字を書く	第5学年に担当されている漢字を正しく書いている。	90.4	
		75.3	
言葉の学習	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	44.5	
	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	72.8	
	敬語について理解し、正しく使っている。	82.5	
	文と文との接続の関係を理解している。	56.6	
	語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。	72.4	
物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	79.7	
	登場人物の様子について、描写を基に捉えている。	82.2	
	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	62.4	
説明文の内容を読み取る	文章全体の構成を捉えている。	80.7	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	62.0	
報告文を書く	情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理している。	57.2	
	目的や意図に応じて、書き表し方を工夫している。	17.2	
文章を書く	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	78.6	
	指定された長さで文章を書いている。	37.3	
文章を書く	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	54.8	
	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	57.8	
	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	74.2	
		40.8	

情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理することに課題がある。指導に当たっては、思考ツールなどの図を活用し、複雑な情報を分類したり、別々の要素ごとにまとめたりするなどの活動を通して、情報と情報との関連付けの仕方について理解することが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
分数のかけ算・わり算	逆数について理解している。	61.5	
	分数の計算でも、分配法則が成り立つことを理解している。	59.6	
分数のかけ算・わり算	分数の乗数の大きさから、積と被乗数の大小を判断することができることを理解している。	55.2	
	真分数×真分数(約分なし)の計算ができる。	86.2	
	帯分数×帯分数(約分1回)の計算ができる。	68.2	
	真分数÷整数(約分1回)の計算ができる。	75.8	
	真分数÷真分数(約分2回)の計算ができる。	85.0	
	整数÷帯分数(約分1回)の計算ができる。	65.8	
	帯分数×整数×真分数の計算ができる。	66.4	
分数のかけ算・わり算	除法の性質を用いて、分数の除法をしている。	50.0	
	基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求めることができる。	59.4	
分数のかけ算・わり算	比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	67.0	
	分数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる。	45.0	
文字と式	分数の乗法の文章問題にあった式を選ぶことができる。	58.8	
	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。	71.2	
文字と式	2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	66.1	
	文字を使った式が表す場面を選んでいく。	50.0	
面積と体積	半径が与えられた円の面積を求める式を理解している。	91.9	
	角柱の体積を求めることができる。	66.5	
拡大図と縮図	拡大図の性質を理解し、線分の長さを求めることができる。	45.7	
	図形の縮図について理解している。	82.2	
対称な形	拡大図や縮図について理解し、既習の図形を捉え直している。	69.7	
	線対称な図形の対応する点について理解している。	41.0	
	点対称な図形の対称の中心から対応する2つの点までの長さについて理解している。	88.7	
比と比の値	点対称な図形について理解し、作図することができる。	80.0	
	等しい比について理解している。	20.5	
比と比の値	比の値について理解している。	22.9	
	比を使って、一方の量から他方の量を求めている。	38.7	
分数のかけ算・わり算	割合が分数の場合において、基準量を求め、どちらが何個多いかの求め方を説明している。	39.4	
対称な形	線対称と点対称について理解している。	78.9	
比と比の値	比を簡単にすることができる。	55.9	
拡大図と縮図	地図の縮尺と地図上の長さから実際の道のりを求め、どちらが遠いかを求めている。	40.4	

等しい比や比の値について理解することに課題がある。指導に当たっては、具体的な場面と関連付けながら、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりする活動を通して、比の意味や表し方を理解させることが重要である。

(2) 中学校
ア 第1学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話し合いの内容を聞き取る	必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。	87.8	
	自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えている。	93.5	
	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。	32.3	
漢字を読む	第1学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	31.2	
		86.5	
漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	94.0	
		77.0	
文法・語句に関する事項	漢字の部首について理解している。	68.2	
	単語について理解している。	62.3	
	歴史的仮名遣いについて理解している。	46.8	
	ことわざについて理解している。	38.1	
説明的な文章の内容を読み取る	文章の内容について叙述を基に捉えている。	52.3	
	情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。	64.0	
文学的な文章の内容を読み取る	文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	61.5	
	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	77.2	
	表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	74.0	
職場体験の話聞く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	59.6	
	自分の考えが明確になるように話の構成を考えている。	75.8	
	情報と情報との関係について理解し、共通点を踏まえて話の内容を捉えている。	55.9	
文章を書く	情報と情報との関係について理解し、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えている。	40.2	
	指定された長さで文章を書いている。	49.6	
	2段落構成で文章を書いている。	51.6	
	読み取った内容を明確にして書いている。	42.6	
	自分の考えを明確にして書いている。	36.9	

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることに課題がある。話題や展開を捉えながら話し合うためには、「何について」、「どのような目的で話し合っているのか」といったことを意識することが重要である。また、互いの考えを結び付けて考えをまとめることについては、他教科等でも意識的に取り組むことが重要である。

【数学】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
正の数・負の数	負の数の大小関係について理解している。	60.3	
	絶対値について理解している。	59.6	
正の数・負の数	基準をもとに、正負の数を使って点数の差を求めることができる。	80.2	
正の数・負の数	素因数分解ができる。	57.2	
	正負の数の減法ができる。	72.6	
正の数・負の数	正負の数の除法ができる。	72.3	
	累乗を含む正負の数の乗法ができる。	82.1	
文字式	1次式の減法ができる。	54.0	
文字式	文字式の表し方を理解している。	61.4	
	数量の関係を不等式で表すことができる。	34.6	
1次方程式	1次方程式の等式の性質について理解している。	87.3	
1次方程式	簡単な1次方程式を解くことができる。	69.2	
	分数を含む1次方程式を解くことができる。	50.4	
1次方程式	比例式を解くことができる。	72.4	
1次方程式	具体的な事象における数量の関係をとらえ、その関係を比例式で表すことができる。	47.2	
	文章問題を解くための方程式を立式することができる。	14.6	
比例・反比例	座標平面上の点の座標について理解している。	93.9	
	比例の関係について理解している。	40.5	
比例・反比例	比例の表から、xとyの関係を表した式を選ぶことができる。	83.8	
	反比例の関係にある1組のxとyの値から、yをxの式で表すことができる。	66.4	
	比例の関係を式に表し、xの値に対応したyの値を求めることができる。	47.0	
	反比例の式から、そのグラフをかきことができる。	58.0	
比例・反比例	具体的な事象について、yがxに比例していることをもとに、その式を立式することができる。	59.9	
比例・反比例	具体的な事象について、yがxに反比例であることをもとに、その式を立式することができる。	23.5	
平面図形	垂直な2直線の関係を表す記号について理解している。	84.2	
	平行移動をした三角形について、対応する点の位置を選ぶことができる。	81.2	
	対称移動して重ね合わせることができる三角形について、正しいものを選ぶことができる。	70.3	
平面図形	三角形を回転移動させたときの図形を作図することができる。	59.5	
文字式	正三角形の個数とコインの個数の関係を文字を使って表すことができる。	28.8	
	正三角形の個数からコインの個数を求める式について説明することができる。	13.7	
比例・反比例	与えられた情報から正しい量の量を求めることができる。	50.2	
	海水の量ととり出せる塩の量の関係を式で表し、式から必要な海水の量を求める方法を説明することができる。	13.6	

文字式において問題場面の数量の関係を文字を使って表したり、文字を使って表した式について説明することに課題がある。文字式の指導に当たっては、数量やその関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表すことができるといった特徴を理解させるとともに、具体的な場面と関連付けながら、式の意味や立式の根拠について説明できるようにすることが重要である。

【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(ものと場所)	63.5	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(行動と対象)	98.4	
リスニング(対話文の応答)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(canと行動)	93.3	
	対話の内容を聞き、適切に応答している。(テニスを毎日するのかとたずねられて)	77.0	
	対話の内容を聞き、適切に応答している。(ペットで何が欲しいかとたずねられて)	49.2	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	対話の内容を聞き、適切に応答している。(デパートはどこかとたずねられて)	61.4	
	日常的な話題についての英文を聞き、概要を捉えている。	94.9	
リスニング(対話文の応答)	対話から必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えている。	34.5	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の3単現の疑問文)	50.7	
語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(疑問詞whose)	66.4	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(否定の命令文)	55.6	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(代名詞we)	54.7	
語彙の知識・理解	対話文の情報を聞き取り、その内容を理解している。	85.2	
	英文の情報を聞き取り、その内容を理解している。	84.4	
さまざまな英文の読み取り	英文を読み、必要な情報を把握して適切な絵を選んでいる。	32.2	
	チラシを読み、必要な情報がどの部分にあるかを把握して、適切な箇所を選んでいる。	63.5	
	対話を読み、対話の流れと表から、必要な情報を把握して適切な場所を選んでいる。	51.7	
	対話を読み、対話の流れと表から、必要な情報を把握して文脈に応じた内容を判断している。	49.2	
長文の読み取り	スピーチを読み、その内容を理解している。	71.4	
	スピーチを読み、代名詞Heの内容を理解している。	30.7	
	スピーチを読み、その要点を捉えている。	71.5	
	スピーチをから必要な情報を聞き取り、感想を述べている。	27.7	
単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(let'sではじまる文)	56.9	
	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(canの疑問文)	78.2	
	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(be動詞の否定文、所有代名詞)	45.6	
	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(What + 名詞)で始まる疑問文)	23.0	
場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書いている。(whatを使って行動をたずねる)	24.2	
	対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書いている。(how manyを使って数をたずねる)	19.9	
3文以上の英作文	自分が好きな月について、英文を正確に書いている。	82.9	
	自分が好きな月について、その理由や説明する英文を相手に伝えるように書いている。	60.4	
	自分が好きな月について、まとまった内容で紹介する英文を相手に伝えるように書いている。	56.4	

対話の流れに合った英文を、相手に伝えるように書くことに課題がある。指導に当たっては、英語の書き方の規則や語順を意識させるとともに、生徒一人一人の習熟度に応じて、ヒントを示したり、誤りの修正を行ったりすることが大切である。

イ 第2学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。	92.4	
	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	73.3	
	論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	52.8	
漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	86.3	
		84.7	
漢字を書く		98.9	
	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	85.0	
		41.6	
文法・語句に関する事項		61.0	
	文の成分について理解している。	78.9	
	敬語について理解している。	79.5	
	歴史的仮名遣いについて理解している。	85.7	
	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。	92.6	
説明的な文章の内容を読み取る	故事成語について理解している。	83.8	
	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えている。	51.3	
	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。	58.4	
文学的な文章の内容を読み取る	文章全体の中における段落の役割について捉えている。	46.0	
	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。	78.9	
	文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めている。	47.7	
調べたことをもとにレポートを書く	文章の表現の効果について考えている。	66.4	
	伝えたいことが分かりやすく伝わるように、文章の構成を工夫している。	49.9	
	読み手の立場に立って、表現の効果を確かめている。	67.3	
文章を書く	情報と情報との関係について理解し、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の改善点を見つけている。	41.8	
	指定された長さで文章を書いている。	59.2	
	2段落構成で文章を書いている。	58.7	
	読み取った内容を明確にして書いている。	34.9	
	自分の考えを明確にして書いている。	47.0	

小学校で学習した漢字を正しく書くことや、文章全体の中における段落の役割について捉えることに課題がある。漢字の定着については、他教科や生活の中で意識的に使うことが重要である。また、段落の役割については、文章全体の中で、段落が書き手の考えを伝える上で、どのような効果をもたらしているかを理解することが重要である。

【数学】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
式の計算	2つの文字を含む式について、数を代入して式の値を求めることができる。	39.3	
	等式を変形して、式のある文字について解くことができる。	45.9	
	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	69.8	
式の計算	単項式の乗法と除法ができる。	64.7	
	分数を含む多項式の計算ができる。	37.7	
	加減法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	76.6	
連立方程式	代入法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	59.3	
	$A=B=C$ の形の方程式を解くことができる。	64.5	
連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	16.1	
連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	62.6	
1次関数	1次関数の関係を表す表から、1次関数の変化の割合を求めることができる。	62.7	
	1次関数の式から、xの増加量に対するyの増加量を求めることができる。	62.0	
1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。	63.6	
	1次関数の式から、グラフをかくことができる。	56.8	
1次関数	2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。	64.0	
	グラフがある直線に平行であること、1点の座標から1次関数の式を求めることができる。	52.9	
1次関数	2元1次方程式の解を座標とする点の全体を表したグラフを選ぶことができる。	38.2	
	グラフがx軸に平行な方程式を選ぶことができる。	46.1	
1次関数	2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。	49.5	
1次関数	水そうに入れる水の深さ(高さ)と時間との関係を式で表すことができる。	30.7	
1次関数	原点とある1次関数のx軸、y軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。	40.2	
図形の性質	図から平行な2直線の角(同位角や錯角)の大きさについて必ずいえるものを選ぶことができる。	63.2	
	平行線と同位角、錯角の関係について理解し、角の大きさを求めることができる。	69.9	
図形の性質	対頂角や三角形の内角の和について理解し、角の大きさを求めることができる。	83.2	
図形の性質	正多角形の角の性質や、多角形の内角や外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。	48.4	
証明	命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の結論を読み取ることができる。	73.0	
	与えられた事柄から、正しい三角形の合同条件を判断し、証明を完成させることができる。	77.3	
	与えられた事柄から、合同な図形の性質と平行線になるための条件を判断し、証明を完成させることができる。	37.0	
式の計算	説明を読み、示された式の意味を示すことができる。	31.3	
	各位の数の和が3である3けたの自然数は、3の倍数であることの説明を完成させることができる。	11.8	
	各位の数の和が9である3けたの自然数について成り立つ事柄を表現することができる。	25.5	
1次関数	B社において、14冊読んだときの利用料金を求めることができる。	57.0	
1次関数	特定の冊数を超えた場合、A社が最も得であることを、グラフを用いて求める方法について、説明することができる。	5.0	

与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することに課題がある。指導に当たっては、時間の関係や長さの関係など、ある特定の量に着目して式をつくることができるようにすることが大切である。また、立式の過程を振り返り、式の意味を説明できるようにすることも重要である。

【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■ 正答 ■ 誤答計 ■ 無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(人の様子)	98.4	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(標識)	63.7	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(していることと接続詞)	81.7	
リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き、適切に回答している。(次の日曜日はどうかたずねられて)	75.2	
	対話の内容を聞き、適切に回答している。(宿題は難しいかたずねられて)	79.1	
	対話の内容を聞き、適切に回答している。(週末に何をするかたずねられて)	66.0	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	40.9	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	86.2	
リスニング(対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて自分の考えを英文で答えている。	50.2	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(一般動詞の過去の疑問文)	89.6	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(There is[are] ~)	64.5	
語形・語法の知識・理解	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(enjoy + 動名詞)	62.7	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。(mustの否定文)	50.5	
	対話文を読み、基本的な語形・語法を理解している。	67.4	
語彙の知識・理解	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	62.0	
	英文を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	49.9	
	英文を読み、必要な情報を把握して適切な部分を選んでいる。	32.0	
さまざまな英文の読み取り	対話を読み、対話の流れと資料から必要な情報を把握して人物の適切な発言を判断している。	49.7	
	メールを読み、下線部thereが指す内容を理解している。	64.1	
	メールを読み、その内容を理解している。	63.5	
長文の読み取り	メールを読み、その要点を捉えている。	46.4	
	メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	61.1	
	メールを読み、その概要を捉えて英文を完成させている。	39.5	
単語の並べかえによる英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(副詞的用法の不定詞)	41.2	
	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(how manyで始まる There is[are] ~の疑問文)	24.8	
	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(過去進行形の文)	78.9	
場面に応じて書く英作文	基本的な文の語順を理解し、正確に書いている。(SVOO)	50.1	
	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(How about ~ing?を使って相手に提案する)	23.4	
	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(whereを使って場所をたずねる)	13.8	
3文以上の英作文	自分の将来の夢について、英文を正確に書いている。	48.8	
	自分の将来の夢について、その理由や説明する英文を相手に伝わるように書いている。	60.5	
	自分の将来の夢について、まとまった内容で紹介する英文を相手に伝わるように書いている。	43.8	

対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書くことについて、誤答や無回答が多い。普段の授業から、コミュニケーションを行う目的・場面・状況などを明確にするとともに、相手意識と伝え合う必然性がある言語活動を設定することが大切である。また、語法や文構造等に関する誤りについては、機会を捉えて説明しなおし、自分が書いたものを修正させるなどの手立てを通して、正確に書けるように指導することが重要である。

4 まとめ

(1) 成果

小学校では、国語における漢字の読み書きや、算数における四則計算の技能についての問題で正答率が高い。このことは、各校で作成されている「学力向上プラン」において、学力向上のための授業改善策として、少人数指導や習熟度別指導、学習の振り返りや習熟のための時間の確保など、継続的に取り組んできた成果であると考えられる。

本市では、市内全小・中学校にALTを配置し、外国語の授業の充実を図っている。また、市内全中学校において、海外の中学校や高等学校とオンライン交流会を実施するなど、生徒が授業で学んだ英語を活用する機会を設定している。中学校の英語で、第1、2学年ともに全国の平均正答率を上回ったことは、これらの英語教育の充実に係る取組の成果であると考えられる。

(2) 課題

小・中学校ともに、各調査教科に共通して、根拠を基に自分の考えを説明したり、既習の学習内容を関連付けながら解決したりする問題に誤答や無回答が多い傾向にある。また、誤答の内容を分析すると、多岐にわたっていることから、児童生徒一人一人について、課題となっている学習内容の詳細を把握するとともに、各自の理解度に合わせた学習を行うことが重要であると考えられる。

(3) 今後の取組

ア 学力調査結果の効果的な活用

各校では、学力調査結果を基に、児童生徒一人一人の課題を的確に把握するとともに、児童生徒一人一人の実態に応じて、ICT端末を効果的に活用するなど、よりきめ細やかな指導が実施できるよう授業改善を行う。

上尾市教育委員会では、学力調査結果から焦点化された課題について、具体的かつ効果的な取組が行われるよう、「学力向上プラン」の内容について精査する。さらに、学校訪問や研修会等を通じて、各校で作成された「学力向上プラン」を踏まえ、教員一人一人が学習指導の工夫・改善を図ることができるよう積極的に支援を行っていく。また、家庭に対して、学力調査結果の活用方法や学習の仕方などの情報発信を行うなど、家庭と連携した取組を推進していく。

イ 「学力向上プラン」を軸としたCAPDサイクルの確立

4月及び5月に実施される国や県の学力・学習状況調査と、12月及び1月に実施される上尾市の学力調査のそれぞれの結果に基づき、各校で作成されている「学力向上プラン」の見直しを年2回行う。定期的に「学力向上プラン」を見直すことで児童生徒の状況を的確に把握し、教育課程の編成や学習指導の工夫、改善を行うなど、課題に対して早期に改善策を講じることができるようにする。



Check	上尾市学力調査結果から、各学年の学習内容の定着の様子や取組の成果を分析する。
Act	各学年で取り組むべき課題を焦点化し、年度内に手立てを講じる。
Plan	授業改善の視点や具体的な手立てを検討し、4月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。
Check	国・県の学力調査で、自校の課題や学力の伸びを分析する。
Act	問題を解くために求められる力や学力の伸ばした取組を把握する。
Plan	学力を伸ばす手立てを検討し、10月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。